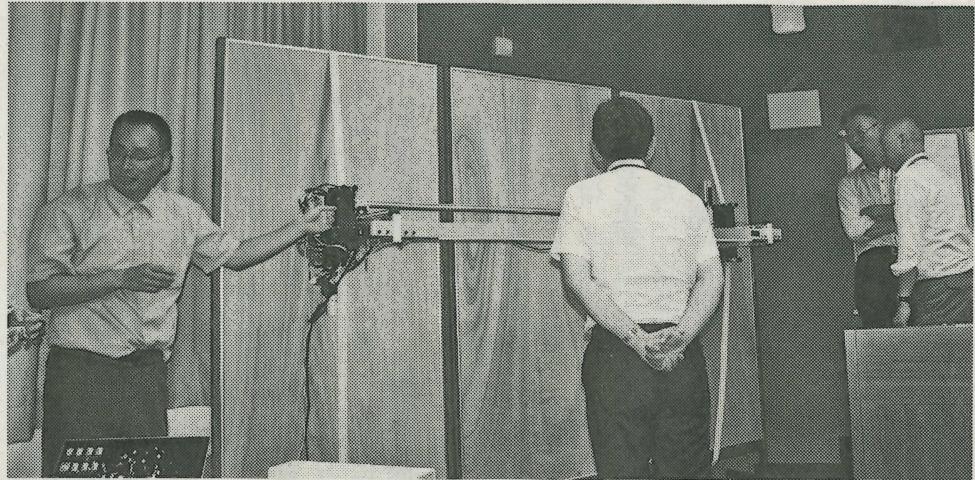


佐野滋則准教授(左)



## 外壁を調べにノボリン!!

三信建材工業（愛知県豊橋市）と豊橋技術科学大学（同）が共同研究開発を進めてきた、外壁点検昇降ロボット「NOBORIN」の現場検証会を6月27日、同大学で行った。

開発に携わった、佐野滋則准教授は「試行錯誤を重ねてここまできた。まだ、改良はあるが、早期の実用化に向けて開発を進めていく」と述べた。ノボリンは、ベルトで上下移動しながら外壁のひさしを自動的に回避する。点検作業では、撮影と打診を行い取得データの解析をスムーズに行う。2020年の春ごろの実用化を目指している。

7/2 運用計画(四)

(5面に関連記事)

業界・行政ニュース

社会インフラメン  
テナンス協議会

設立へ準備中  
7/2 人物面

①面関連 三信建材  
工業（豊橋市、石田敦  
則社長）は、老朽化した  
社会インフラの維持・  
修繕の一環に対応する  
ため、社会インフラメン

述べた。  
同社では、協議会の設  
立に向けて準備を進める  
とともに、非GPS環境  
型ドローンを用いた土木  
建築構造物確認点検サ

ービスを開いていく。  
また、7月24～26日には  
東京ビッグサイトで開催  
する「インフラ検査・維  
持管理展」にノボリンを  
出展する。



ノボリンの活用が国土交通省  
の点検仕様書に盛り込まれ  
たことを受けて「構造  
物点検スクール講習内容  
を検討し、点検技能検定  
を年内に開始したい」と

について石田社長＝写真  
＝は「ドローンでは点検  
できない環境で行えるロ  
ボットを大学と共同で開  
発してきた。社会情勢の  
変化、老朽化が進む社会  
インフラの点検と修繕の  
要望に応えていく」と話  
した。  
また、橋梁点検にドロ  
ンの活用が国土交通省  
の点検仕様書に盛り込まれ  
たことを受けて「構造  
物点検スクール講習内容  
を検討し、点検技能検定  
を年内に開始したい」と